

病院を受診された患者さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	血管疾患および心臓疾患の診断評価のための自動画像処理システムの開発
当院の研究責任者 (所属)	所属：琉球大学大学院医学研究科 循環器・腎臓・神経内科学講座 職名：教授 氏名：楠瀬 賢也
他の研究機関および 各機関の研究代表者	氏名：横田 秀夫 所属：理化学研究所
本研究の目的	大動脈、冠動脈、末梢動脈、脳動脈は、動脈硬化により狭窄、拡張、解離など、病的変化が出現します。これらの評価については、X線CT、MRI、超音波診断法、血管造影等が用いられます。その読影については、経験のある医療者が注意深く行っていますが、画像処理システムを併用することにより、より正確により迅速に行えるようになります。しかしながら、現時点ですぐれた画像処理システムは存在しません。本研究の目的は、さまざまな血管の画像をコンピュータで処理して、適切な診断が行えるソフトを開発することです
研究実施期間	実施許可日から2025年3月31日
調査データ(該当期間)	2014年4月以降で当院の第三内科に外来通院または入院された方の情報
研究の方法 (利用する試料・情報 等)	●対象となる患者さま 2014年4月以降で当院の第三内科に外来通院または入院された方のうち、診断機器画像(X線CT、MRI、超音波診断法、血管造影等)による大動脈、冠動脈、末梢動脈、脳動脈および心臓の撮像を行った方。 ●利用する試料・情報 診断機器画像(X線CT、MRI、超音波診断法、血管造影等)による大動脈、冠動脈、末梢動脈、脳動脈および心臓の撮像
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	個人が分からないように匿名化されたデータを理化学研究所へ提供し、システムの解析を依頼します。

試料・情報の二次利用	なし
個人情報の取り扱い	検査で得られた血管および心臓の画像のデータを個人がわからない形のデジタルデータに加工し、それをコンピュータ上に移して、画像処理するプログラムを開発します。その際に、X線CT、MRI、超音波診断法、血管造影等の所見を比較します。また、診断の確認のために、電子カルテの記録を参照しますが、画像と同様に個人がわからない形でデータ化して用います。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：098-895-3331（内線：1150） 担当者：楠瀬 賢也
備考	本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、上記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、解析が終了している場合、論文化されている場合はその限りではありません。